
東京都市大学・エディンコーワン大学 国際連携環境融合科学専攻

専攻のポリシー
専攻について
履修上の注意事項
履修モデル

東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻の ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

博士前期課程

ディプロマポリシー

[専門知識・応用力]

環境、情報、都市生活に関する世界の共通課題について深く考察し、持続可能社会の構築に寄与するための専門知識と研究能力を身につけた者

[分析力・構想力]

現代の国際社会が直面する環境、情報、都市生活に関する諸問題に対する科学的思考、調査・分析・評価を通して解決方法を構想し、提案できる能力を身につけた者

[研究倫理]

適切な研究倫理と多様性に配慮しつつ、研究を継続して実施、発展させる熱意と資質があると認められる者

カリキュラムポリシー

[研究科目]

環境、情報、都市生活に関する諸問題の解決に必要となる科学的思考、調査・分析・評価能力を涵養するため、いずれかの教員の研究室に所属し、本学教員の直接指導のもとで「文献研究・演習」、「特別研究」を履修する。

[領域ごとの授業科目]

環境、情報、都市生活に関する特定領域について、分野横断的な幅広い知識と分野ごとの深い知識の両方を身に付けた人材を育成するため、領域ごとに「専門科目」を設置し、複数領域の単位修得を可能とする。

[連携外国大学による専門科目]

国際社会において環境科学領域で実践的に活躍できる人材を育成するため、連携外国大学が提供する環境科学に関する専門科目を履修する。さらに、連携外国大学教員からの直接指導による「Postgraduate Science Project」を履修して、世界で通用する専門力を修得する。

1. 専門分野の紹介

本専攻は、国際連携教育課程制度に基づく専攻（博士前期課程）です。国際連携教育課程は、ジョイント・ディグリープログラムとも称され、日本と海外の連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で連名して単一の学位を授与するものです。本専攻の海外連携大学は、東京都市大学オーストラリアプログラム（TAP）の派遣先であるエディスコワン大学です。

本専攻では、すべての授業を英語で行います。また、本学を主大学とする本専攻の学生は、1 セメスターをオーストラリア連邦 西オーストラリア州のパーズで過ごし、エディスコワン大学が開講する科目を履修します。本学の開講科目から 15 単位、エディスコワン大学での開講科目から 15 単位所要の要件を充たし、修士論文等の研究成果の審査と最終試験に合格することで、東京都市大学とエディスコワン大学より連名で英文の学位記（学位：Master of Environmental Studies）が授与されます。

2. 教育目標と身に付く素養

本学は、人間と生態系の尊厳を深く理解し、国際的な広い視座と高度な専門知識を駆使して、問題を発見し解決に向けて強い信念をもって行動することで、世界を持続的な発展へ導くことを役割・使命としています。本専攻では、エネルギーや工学的観点を基軸として、「生産」技術(SDG7)、「消費」行動(SDG12)、「政策・経営」(SDG9)の3分野とこれらの分野を有機的につなぐ共通科目群で構成する教育(SDG4)を通して、以下の知識・能力・教養の習得を目的とします。

- (1) 脱炭素技術を迅速に導入し、自然を破壊せず効果的に活用することで 2050 年カーボンニュートラル社会の実現に貢献できる専門的な技術力及び知識 (SDG13, 15)
- (2) リーダーとして、高い専門性と俯瞰的な視点を持ち、困難な課題に真摯に取り組み、社会文化背景の異なる国を跨ぐ問題解決のための提案と具体的な行動を自発的に起こすことができる能力 (SDG17)

本専攻の教育課程は、専門科目と、専門科目を有機的につなぐ共通科目の2つの科目区分からなり、専門領域を分野横断的に幅広く学ぶために、大半の科目を専門科目に位置付けています。専門科目は、領域ごとの知識を教授するための講義形式の科目と、研究指導に相当する演習形式の科目からなり、前者については、本専攻の研究領域である「持続可能な生産」、「持続可能な消費」及び「環境政策及び環境経営」に対応する「生産」、「消費」、「政策・経営」の3つの科目群に分け、いずれの領域を軸として学び、研究に取り組みたいかを考えながら履修できます。領域ごとの専門科目は両大学の教員が担当する当該科目で構成されています。また、科目区分「共通」では、関連分野に関する基礎的素養を涵養するための科目が配置されています。

2 年次前期に、修士論文または特定課題研究報告書の主題及び研究計画を主指導教員に提出します。また、主指導教員等は、研究指導計画に基づいて指導を行い、後期には、修士論文または特定課題研究報告書の中間発表会を開催します。最後に行う修士論文または特定課題研究報告書の発表会では、集大成として修士論文または特定課題研究報告書の研究に関する内容を発表します。

なお、1 年次及び 2 年次を通して、開催されるその他の研究発表会等への参加を推奨します。

3. 修了後の進路

本専攻では、国によって異なる視点や価値観を融合して問題を発見して解決する能力と異文化適応能力を涵養し、アジア大洋州でリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的としていることから、次のような進路が考えられます。また、本専攻では、高度の専門的職業人としての進路に重点をおきつつも、環境情報学専攻博士後期課程への進学を念頭に、研究者としての進路も考えられます。

- 環境情報学専攻博士後期課程への進学
- 脱炭素社会・自然共生社会・循環経済の構築に寄与するためグローバル企業の技術開発者
- 国際機関、政府・自治体担当者、NPO、NGO
- アントレプレナー
- サステナビリティ学を牽引する研究者

1. 指導教員（「主指導教員」及び「副指導教員」）

学生の研究指導にあたる教員を指導教員といい、入学後に主指導教員と副指導教員を決定する。

2. 修了するために必要な修得単位数

下表の通り、本学を主大学とする学生は修了要件として、「文献研究・演習 I～IV」「特別研究 I, II」から3単位を含む、本学開設科目15単位以上、エディスコワン大学開設科目15単位以上を修得し、合計30単位以上を修得すること。

本学開設科目	15単位 以上	文献研究・演習，特別研究から3単位を含むこと
エディスコワン大学 開設科目	15単位 以上	
合 計	30単位 以上	

3. 履修届出

履修しようとする授業科目は、指導教員の承認を経て、学期初めに指示された期日までに所定の方法にて履修登録をしなければならない。この手続を経ない授業科目は、受講の上、試験に合格しても単位は与えられない。

4. 履修しようとする授業科目の選択方法

（1）授業科目で使用する言語

授業で使用する言語は【英語】とする。

（2）授業科目の選択

分野横断的に環境学に関する幅広い知識を身につけるため、自らの興味や研究テーマをもとに履修する科目を決められるよう、すべての科目を選択科目としている。ただし、修了には本学開設科目15単位（文研研究・演習 I～IV，特別研究 I, II から3単位を含む）、エディスコワン大学開設科目15単位の修得が必要である。

（「教育課程表」参照）

（3）他研究科・他大学院の科目の履修と単位認定について

他の研究科、及び他の大学院における科目等、当該専攻の教育課程表に記載のない科目については、修了要件に算入することはできない。

（4）その他

①指導教員が必要と認めた場合、その指示に従って学部の授業科目を履修できるものとする。

ただし、合格しても、修了に必要な単位には加算しない。

②所属専攻以外に属する「文献研究・演習」、「特別研究」を選択することはできない。

5. 科目試験

博士前期課程において、授業科目の試験は定期の試験として前・後期末に行う。試験に合格した者には、学則に定める単位を与える。

ただし、平常の成績をもって試験の成績に代えることがある。

6. 成績

(1) 成績の発表

- ①成績は8月下旬（クォーター開講を含む前期配当科目）と3月下旬（クォーター開講を含む後期配当科目）の2回発表する。
- ②修了要件を満たして学位授与資格を認定された者は、3月もしくは9月に本学内に掲示する。

(2) 成績の評価

成績の評価を、秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）の5段階に分け、秀・優・良・可を合格とする。

なお、本学とエディスコワン大学の成績換算についての一覧は以下の通り。

本学とエディスコワン大学の成績換算についての一覧			
エディスコワン大学の評価		本学の評価	
HD (Highly Distinction)	80-100点	秀	90-100点
D (Distinction)	70-79点	優	80-89点
C R (Credit)	60-69点	良	70-79点
C (Pass)	50-59点	可	60-69点
N (fail)	49点以下	不可	59点以下

(3) 成績順位の算定方法

成績順位は、f-GPA（ファンクショナル・グレード・ポイント・アベレージ）方式により算定される。計算式は以下の通りで、算出された評定値の大きい順に順位がつけられる。

$$\frac{\text{履修した各科目のGP} \times \text{単位数の合計}}{\text{履修単位数}} = \text{評定値}$$

※GP = (科目の得点 - 50) / 10 ただし、科目の得点が60点未満の場合、GPは0とする。

- ①評価値算出対象科目は「修了要件対象科目」とする（修了要件非加算科目は対象外）。
- ②評定値算出には不合格科目も対象とする。
- ③不合格科目を再履修した場合は、分母の履修単位数の変更はせずに、分子のGPのみ最新評価結果に変更して算出する。
- ④前期終了時に評定値を算出する場合、当該年度に履修中の通年科目については、分母（履修単位数）に含めない。
- ⑤評定値が同じ場合には、分子が大きいものを上位とする。分子も同じ場合には同順とする。
- ⑥評価が「認定」の科目は、評定値算出の対象にならない。

7. 学位論文又は特定課題研究報告書に関する届け出

①修士論文によって修了する場合

1年次終了時、1年以上在学した上で、所定の用紙により学位論文の主題とその研究計画書を指導教員に提出しなければならない。

②特定課題研究報告書によって修了する場合

1年次終了時、1年以上在学した上で、所定の用紙により特定課題研究の主題とその研究計画書を指導教員に提出しなければならない。

8. 修士論文と特定課題研究の選択

修士論文に代えて特定課題研究報告書の提出によって修了するためには、2年次年度初めの履修登録期日までに指導教員及び専攻主任教授の承認を得た上で選択を決定し、所定の書類を教学課へ届け出なければならない。なお、その後の在学期間において修士論文又は特定課題研究報告書いずれかの選択の変更は認められないので十分注意すること。

9. 学位論文又は特定課題研究報告書の提出

修士論文及び特定課題研究報告書は、審査委員会の委員人数分を作成し、所定の期日までに指導教員を通じて学長に提出しなければならない。

10. 最終試験

最終試験は学位論文又は特定課題研究報告書を中心として、これに関連ある科目ならびに外国語について行う。

外国語は、原則として一種類を課する。

試験は、口答、筆答又は口答及び筆答の方法によって行う。

11. 学位の授与

博士前期課程に所定の期間在学し、本学が定める修了要件を満たすように30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導等を受けた上で（エディスコワン大学が実施するアカデミックトレーニングの合格を含む）、学位論文又は特定課題研究報告書を提出し、その審査及び最終試験に合格したことをもって修了したものとする。

博士前期課程を修了した者には、修士（環境学）（英語名称：Master of Environmental Studies）の学位を授与する。

履修モデル：東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻

博士前期課程

(4月入学 履修モデル)

履修モデル【生産分野重視】

科目区分		1年		2年	
		前期	後期(ECUへ留学)	前期	後期
専門科目	生産	環境影響評価学	Project Management	Sustainable Cyber-Physical Systems	
		都市環境モデリング	Occupational Health and Safety Management Systems	IoT for SDGs	
	消費				
	政策・経営				
		文献研究・演習I		文献研究・演習II	Postgraduate Science Project
				文献研究・演習III	
共通		Fundamentals of Global Sustainability	Geographical Information Systems and Remote Sensing	Fundamentals of International Standardisation	

履修モデル【消費分野重視】

科目区分		1年		2年	
		前期	後期(ECUへ留学)	前期	後期
専門科目	生産		Project Management		
	消費	環境建築学	Management of Waste	環境コミュニケーション論	
		地球規模問題解決型イノベーション論	Biological Conservation	Environmental and Social Systems	
				環境保全学	
	政策・経営				
		文献研究・演習I		文献研究・演習II	Postgraduate Science Project
				文献研究・演習III	
共通			インターンシップ		

履修モデル【政策・経営分野重視】

科目区分		1年		2年	
		前期	後期(ECUへ留学)	前期	後期
専門科目	生産		Project Management		
	消費		Data Analysis and Visualisation		
	政策・経営	環境法・政策学		認知科学特論	
		現代社会のマスメディア		知能科学	
		文献研究・演習I		文献研究・演習II	Postgraduate Science Project
				文献研究・演習III	
共通		Fundamentals of Global Sustainability	Geographical Information Systems and Remote Sensing	Fundamentals of International Standardisation	

(9月入学 履修モデル)

履修モデル【生産分野重視】

科目区分		1年		2年	
		後期	前期	後期（ECUへ留学）	前期
専門科目	生産	地域環境計画論	Sustainable Cyber-Physical Systems	Project Management	
		環境影響評価学	IoT for SDGs	Occupational Health and Safety Management Systems	
	消費				
	政策・経営				
		文献研究・演習I	文献研究・演習II		文献研究・演習III
					Postgraduate Science Project
共通		Fundamentals of International Standardisation	Fundamentals of Global Sustainability	Geographical Information Systems and Remote Sensing	

履修モデル【消費分野重視】

科目区分		1年		2年	
		後期	前期	後期（ECUへ留学）	前期
専門科目	生産			Project Management	
	消費	Environmental and Social Systems	環境建築学	Management of Waste	
		環境保全学	地球規模問題解決型イノベーション論	Biological Conservation	
	政策・経営				
		文献研究・演習I	文献研究・演習II		文献研究・演習III
					Postgraduate Science Project
共通		インターンシップ	Fundamentals of Global Sustainability		

履修モデル【政策・経営分野重視】

科目区分		1年		2年	
		後期	前期	後期（ECUへ留学）	前期
専門科目	生産			Project Management	
				Occupational Health and Safety Management Systems	
	消費			Management of Waste	
	政策・経営	情報社会論	認知科学特論		
		情報システムとビジネス	知能科学		
		文献研究・演習Ⅰ	文献研究・演習Ⅱ		文献研究・演習Ⅲ
					Postgraduate Science Project
共通		Fundamentals of International Standardisation	Fundamentals of Global Sustainability		